

# 市政そこが知りたい

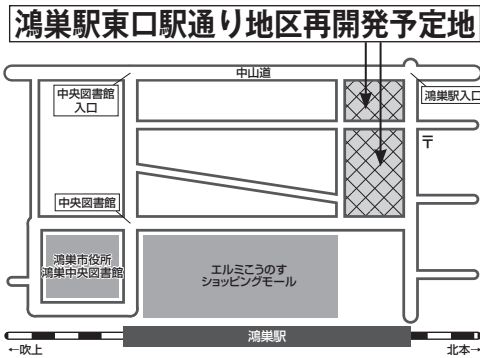
一般質問は、議員に与えられた発言の場で市政について質問をすることができます。この一般質問のページは質問者が自ら執筆した原稿を掲載したものです。限られた字数のため、詳細については本庁・支所にある市政情報コーナーや図書館に備えつけの会議録や市議会ホームページをご覧ください。

**鴻巣駅通り地区再開  
民間資本の儲け口か**  
おりづる 菅野 博子

**大雪対策は  
農業の担い手確保は**  
公明党 橋本 稔

**安全な学校給食の提供  
市有財産地の活用計画**  
鴻創会 並木 正年

**市道A-1004号線  
整備事業**  
鴻創会 坂本 晃



問 鴻巣駅東口駅通り地区再開の計画が予定の段階で、2億1800万円が予算化されているがその内容は。  
答 主な施設は、分譲住宅・高齢者住宅・店舗・公共公益施設・駐車場となります。  
問 公共公益は、すでにA地区に整備済。市内でマンションや高齢者住宅が不足しているのか。大手デベロッパー主導で、公共事業が儲けの対象で良いのか。  
答 東口整備に必要な事業です。

問 2月14日の大雪被害での本市の被害状況と除雪等の対応策は。  
答 一般家庭ではカーポート・テラスの倒壊、農業ではハウスの倒壊が多数発生しています。被害総額3億円と考えています。

除雪の対応は、市と委託契約している建設業者が幹線道路の除雪、駅周辺は人力で作業を行いました。  
被害対応として、カーポート撤去廃材の無料引き取り、倒壊ハウス農家に10万円の災害見舞金の支給を決定しました。

問 農業の担い手確保のための「人・農地プラン」の作成と女性への取り組みは。  
答 農地の集積、新規就農支援の為にこのプラン作成は重要であり、説明会を開催、地域の実情にあったプランを作成し県へ申請を進めたいと考えています。

また女性への就農の促進のため、様々な機会をとらえて推進に取り組んでいきます。

問 改築中の吹上小を除く18小学校が4月から自校式給食になる。調理体制や衛生管理の徹底した取り組みは。  
答 食材の検査は調理場ごとに6月と12月の年2回O-157検査、ヒスタミン検査、毎月測定している放射性物質測定などを実施し安全管理に努めています。改定した鴻巣市学校給食衛生管理マニュアルが徹底されるよう取り組んでいきます。

問 市有財産地の将来的な運用計画と遊休地の活用は。  
答 平成20年度からの3か年で「公有財産管理台帳システム」を整備し、本市の道路と水路を除くすべての公有地と建物及び賃貸借地を適正に管理し、公共施設の一元管理が可能となりました。今後は施設の改修計画の策定・統廃合・機能の見直し・適正配置さらには、不用財産の売却を含めた資産の有効活用を計画的かつ効率的に運用していきます。

問 現在までの整備状況は。  
答 平成22年度から始まり現在、洪井橋については橋台の躯体工事を進めています。事業の進捗率は約55%、平成26年11月には、橋りょう上部工事が完成する見込みです。

問 今後の整備計画は。  
答 今年度より2期工事区間として大幹線排水路から北側の未整備区間、延長320mについて、現在実施中の測量作業が終了次第、地元説明会を開催します。

また、平成26年度には路線用地測量、物件調査や地質調査、道路設計等を行い平成27年度に用地買収、平成28年度に道路改良工事に着手する見込みです。

問 質田(南)交差点の右折車線の拡幅・歩道の整備は。  
答 拡幅・右折車線の設置、歩道整備に向けた交差点設計、用地取得に係る資料を整えるとともに地元への説明及び大宮国道事務所等の関係機関との協議・調整を進めます。

地方への権限移譲の  
現状と今後の取り組み

鴻創会 金子 雄一

問「第四次埼玉県権限移譲方針」に伴う本市の対応は。

答平成22年に策定した「第三次埼玉県権限移譲方針」の最終年度である本年度末時点での移譲済み数は80事業です。成果の一例として、パスポートの申請受理・交付や屋外広告物の簡易除去事務があり、市民の利便性の向上と防犯全般を抑止する効果があったものと考えます。

問 今回の第四次方針の新規事務23事務のうち、本市が対象となる事務は、乳幼児の一時預かり事業の届出受理等10事業です。本市においては、地域の実情を十分に考慮の上、より細やかな住民サービスを効果的効率的にできるよう人員配置や事務配分等を見直し実施します。

○その他行った質問  
 ・鴻巣駅西口駅前道路等のタウンウォッチングと今後の取り組み  
 ・公民館等における調理室の更なる活用

北鴻巣駅西口屋根設置  
市制施行60周年事業

鴻創会 福田 悟

問 北鴻巣駅西口自由通路には屋根が無く、利用者は大変不便を感じている。公衆便所も含め一刻も早い設置を。

答 県との調整が整う見込みから平成26年度にJR東日本が正工事を、本市は実施設計を行い、平成27年度に施工の予定です。公衆便所についても同様です。

問 市制施行60周年事業の内容と全市を挙げての取り組みは。

答 内容は、5月に「まちづくりinここのす」を開催、10月に記念式典を、そして市民の皆さんが主催する事業に「市制施行60周年」との冠をつけていただき、市全体で盛り上げていきます。そして「わがまち鴻巣」に愛着と誇りを持っていただき、本市の明るい未来の創造につながることを考えます。



北鴻巣駅西口自由通路  
待たれる屋根設置

鴻巣駅前再開発に  
約154億円投下

やさしい改革 加藤 久子

問 エルミここのすアネックスに当初計画でなかった図書館・市民活動センター・映画館が設置された。これらの保留床取得を含む総事業費154億900万円だが、市の実質的な負担額は。

答 合併特例債による交付税措置や一般公共事業債の償還分の交付税措置により、市の負担分は、43億4000万円であり、総事業費に対する支出割合は約28.2%です。

問 災害時に備え、要援護者に2名の援護者が登録されているが、要援護者と援護者の連携は。

答 一部の自治会では防災訓練時に安否確認の訓練もし、連携の強化が試みられています。

問 自主防災組織を機能させるために行政主導で新しい組織づくりを考えられないか。

答 自主防災組織の結成については、行政指導や市が一方的に押し付けるのではなく、自治会との市の協働により組織化できるように支援していきます。

コミュニティバス  
「フワフワ号」

新政会 加藤 孝

問 新旧路線等の変更内容は。

答 川里コースでは、2本の路線を統合し循環型とし、新たに2地域に乗り入れ、吹上コースでは、循環型から北コースと南コースに分割しました。田間宮・馬室・笠原・常光コースでは、路線変更はありません。

問 市民要望への対応状況は。

答 馬室権現地域及び田間宮緑町地域への新路線開通要望は、道路幅員（バスの車幅の2倍に0.5mを加えた幅員5.5m）が確保できず、実現できませんでした。

問 交通手段を持たない高齢者世帯のために、公共交通空白地域にデマンドバス（ワゴン車や普通車）を運行したらどうか。

答 近隣市で導入していますが、収支比率が低く、予約成立率が60%であるなど課題が多くあります。

また、本市では4月の運行開始から一定期間経過後に再度アンケートをとるなど調査し、検証していきます。

総合体育館耐震補強工  
事に伴う休館の対応は

鴻友会 頓所 澄江

問 健康志向のもとスポーツ愛好者が年々増加している状況の中で、8ヶ月間（8月1日～3月31日）休館になると多くの市民が影響を受ける。総合体育館の利用者が活動を続けられるよう公民館との連絡調整と連携、代替え施設の情報提供等が重要と考えるが、その対応は。

答 代替え施設の情報提供として「コスモスアリーナふきあげ」「第2体育館」「学校体育施設」等の利用可能な体育施設の状況を説明しています。利用可能な体育施設の情報等を積極的に提供していきます。

問 情報提供は、いつ、どのような方法で行うのか。

答 各施設の予約方法が違うので、今後、調査・研究を進めてからの情報提供になります。活動をされている方々が、代替え施設でも8月から活動が継続できる時期に、総合体育館の窓口・ホームページ・広報等で周知するよう考えています。

## 習熟度別授業の充実を

鴻巣フロンティア 長嶋 元種

問小・中学生の学力向上を図るために、各種の施策を実施しているが、習熟度別授業に対してどのような評価を行い、今後どう充実していく考えなのか。

答習熟度別授業は、全小学校19校で算数を中学校8校のうち5校で数学や英語を中心に実施しています。また、この授業とは別に同一学級または同一学年で複数の教員が指導・支援を行う「チーム・ティーチング」や1クラスの人数を少なくして行う「少人数指導」も行っており、それぞれの学校の実態等に応じて効果的な指導方法を実施しています。評価は、県の学力・学習状況調査や教育に関する3つの達成目標の検証などを通じて行い、前年度の調査結果と比較して課題を捉えたり、児童生徒の個々の伸びを確認したりしています。今後は大学生による学習ボランティアの導入を図ることなどで指導の充実を図っていきます。

## 吹上地域の現状と振興策

鴻友会 谷口 達郎

問合併後の吹上地域での事業内容と今後の予定は。

答主な事業は、平成19年3月完成の「小谷小学校屋内運動場改築事業」20年1月運行開始の「コミュニティバスフラワー号の吹上コース開設」21年4月供用開始の「吹上駅北口駅前広場整備事業」23年7月完成の「吹上中学校校舎改築事業」25年3月完成の「吹上パークゴルフ場拡張事業」などを実施してきました。現在、継続事業として、「吹上複合施設建設事業」「吹上小学校校舎改築事業」が計画どおりに進んでおり、新たに、「吹上北側生涯学習施設建設事業」「吹上地域保育園新設事業」のほか、事業見直しを行い実施している「北新宿第二土地区画整理事業」など、3地域の均衡ある発展を図るための事業が着実に進展しています。

○その他行った質問

・吹上地域にある施設や観光資源をいかした振興策は

## 小・中学校のホームページの管理と運用

鴻創会 坂本 国広

問「全日本小学校ホームページ大賞」受賞校のホームページが充実しており、学校と保護者・地域とのより良い関係の構築に寄与している。鴻巣市内小中学校27校のホームページを充実させるための予算や職員配置の考えはあるか。

答受賞校では、ブログ等を見重生徒や教職員が毎日更新し、学校の情報を発信しています。「ブログを見た」と住民同士の会話が弾み、ホームページを通して地域がつながり、地域住民の絆づくり役に立っています。

予算がつき職員が配置されると仮定した場合、ホームページの更新頻度が増え、子ども達の夢や理想をかきたてるような魅力的な内容となり、保護者や地域の方のアクセス数が増え、学校への理解・関心が高まること

が期待されます。現状では、教職員が本来の業務の合間に管理しており、担当職員の配置の必要性について調査します。

## かがやき・ホームページの現状や課題は

かいえんたい 大塚 佳之

問かがやきやホームページは市民への情報提供ツールとして活用されているが、生活環境等の変化に対応すべく、更なる内容の充実を望み、現状や課題、今後の展開は。

答市広報紙では「お知らせ版のカレンダー」の文字サイズを大きくしたり、イラストや写真を用いる等読みやすい紙面作りに努めています。自治会未加入世帯への配布が課題です。

平成11年4月より開始したホームページは、1日平均約3000件のアクセスがあり、ページ更新の作業等を各部署で実施し、タイムリーな対応に努めています。新たな取り組みとして、4月よりテレビ埼玉の文字データ放送を開始します。



## 民生委員・児童委員の活動は

鴻巣フロンティア 中島 清

問本市の民生委員1人の受け持ち戸数はどのくらいか。

答厚生労働省の定める配置基準によると人口10万人以上の市につき170〜360世帯ごとに1名の民生委員を配置することになっており、本市では1人当たり平均すると258世帯です。

問民生委員が活動中に事故にあったとき、公務災害の適用はされるのか。

答民生委員は特別職の地方公務員です。地方公務員災害補償法の規定によって定められている県条例で民生委員活動中の事故に対して補償されます。その他、全国民生委員互助事業による見舞金も支給されることになっていきます。

問大雪に関連し、1人暮らしのお年寄りに被害はなかったか。

答高齢者の方や民生委員から市福祉課へ被害の連絡はなかったが、雪かきの依頼が市社会福祉協議会に1件あったとのこと

飲み水の安全性は

鴻友会 織田 京子

問市の見解は。

答水道法で水道水の備えるべき水質上の要件6項目が定められており、これらの要件に適合し安全が確保されたものでなければならぬと認識しています。

問ホルムアルデヒド検出の際の市民への周知方法は。

答市のホームページでお知らせしました。

問パンコンを使わない方や、視覚障がい者の方の事を考えるとフラワーラジオの活用は。

答状況に応じてフラワーラジオも活用していきます。

問県水である利根川流域の環境の変化の認識は。

答県水は気象、季節変動、上流域の汚染など様々なリスクを抱えているため、県では今後の浄水処理方法について協議会を設置し検討、協議をすることになりました。

問事故マニュアルの進捗状況は。



答25年度内に完成予定です。

少子化対策  
大雪の影響

鴻友会 矢部 一夫

問地域少子化対策強化交付金の申請内容は。

答子育てフェスティバル開催事業を交付金対象事業として申請しました。この事業は子育て家庭が適切な時期に必要な支援を受け、情報提供や子育て家庭の不安を解消する方策、父親の育児参加と働く母親に多様な働き方を提案するセミナーを同日に開催するものです。

問2月の大雪時の農業ハウスと農産物の被害状況は。

答3月14日現在でビニールハウスなど2222件で672棟、被害面積は121,600㎡です。

農産物の被害面積は、花苗・きゅうり・いちご等の野菜、ハウス梨・ハウスぶどう等の果物を合わせて13・2haです。収穫が皆無となった農業者もいらっ

しゃいました。被災された農業者の皆様が一刻も早く農業生産が再開できるように国や県と連携を図り、再建支援策を構築していきます。

ひな人形と花のまちの  
ふるさとづくりの推進

公明党 川崎 葉子

問鴻巣花まつりのオープンガーデンのように「オープンひなめぐり」という展開は可能か。

答個々の事業者や個人が「ひな飾り」を行い、おもてなしの心で接することは大変良いことと認識し、今後検討します。

問鴻巣発「ひなずきん」の教育的効果は。

答箕田小では出前講座を利用した「ひなずきん作りは、子ども達にも大変好評でした。ずきんを自ら作ることで自分の身は自分で守る意識を高めることができました。



箕田小の避難訓練の様子

○その他行った質問

- ・プレミアム付商品券の効果
- ・クラウドファンディング
- ・まちづくり地域懇談会事業

赤見台近隣公園の代替  
公園選定期と規模は

コスモスクラブ 中野 昭

問本市は赤見台近隣公園を候補地に、総合病院誘致への取り組みを進めている。この赤見台近隣公園は、地域の核となる公園として、野球やサッカーなどのほか、ゲートボールや散策、子ども達の遊び場などとして地域の人々に幅広く利用されている。

このような中、総合病院誘致には代替公園の整備は必須であり、代替公園の候補地決定及びその規模について伺う。

答代替公園の整備候補地については、国道17号の北東側の農用地を第一候補とし、道の駅構想を踏まえ、平成26年度中に決定できるよう努力していきます。

また、整備面積については、病院用地として予定される1万6500㎡程度は必要と考えています。また、施設内容についてはワークショップ等により地域の皆様方のご意見を伺いながら進めます。

待望の「こどもデイサ  
ービスセンター」開設

公明党 潮田 幸子

問こどもデイサービスセンター開設により障がい児学童保育が始まる。申込み状況・詳細は。

答特別支援学校・特別支援学級に通う小学生16人中学生12人高校生6人が希望しています。利用者とつみ学園の職員・こどもデイサービスセンターの児童発達支援管理責任者が連携し、障がいの特性に応じた繋がりがあ

る適切な支援を目指します。

問消防団の装備拡充計画は。

答団員の安全確保の為にヘルメット・安全靴等は26年度に、救助活動用資機材配備は今後検討し防災力強化に努めていきます。

問公共施設の耐震化は。

答災害時の指定避難所・補助避難所の耐震化は25年度で全て終了です。その他については耐震改修の必要性・統廃合の可能性も含め協議を重ねていきます。

○その他行った質問

- ・地域包括ケアシステム構築に向けた本市の取り組み